

1 国語に関する調査

【特長】

- ・図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。各教科の授業で、自分の考えを図表やグラフを用いて伝えることで、自分の考えが相手にとってより理解しやすいものになることを指導した成果だと考えられる。
- ・時間の経過による言葉の変化や、世代による言葉の違いに気付くかどうかを見る問題の正答率が高く、共通語と方言など特有な言葉との違いを理解することができていることが分かる。

【課題】

- ・目的や意図に応じて集めた材料を分類したり、関係付けたりして伝え合う内容を検討することに課題がある。材料をよく整理し、関係付けながら考えをまとめていく指導が必要である。
- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題がある。情報が必要なものかどうか確かめたり、情報と情報がどのような関係にあるかを考えたりしながら読む指導をしていくように心がけたい。

2 算数に関する調査

【特長】

- ・角を作る二つの辺をそれぞれのばした図形の角の大きさを求める問題の正答率が高い。角の大きさを、辺の開き具合として捉えている。
- ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことがよくできている。日常生活の問題を解決するために、一方の数量を決めればもう一方の数量がどのように決まるのかという学習機会を多く設定したことの成果だと考えられる。

【課題】

- ・数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることに課題がある。0から1までが何等分かに着目させ単位分数を捉える学習を、繰り返し行う必要がある。
- ・目的に応じて適切なグラフを選択して量の増減を判断し、その理由を言葉や数で記述することに課題がある。様々なグラフの特徴をよく理解し、適切なグラフを選択してデータの傾向を捉え、その判断理由を表現できるような指導をしていく。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・電流がつくる磁力について、電磁石の強さはコイルの巻数によって変わることをよく理解している。実験の結果を図に整理したり、言葉で説明したりするなど、知識と関係付けて理解を深める指導を行った成果だと考えられる。

【課題】

- ・身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識に課題がある。習得した知識を整理し、まとめるなどして、物質の性質について理解を深める学習活動を充実させていく。

4 児童質問紙の結果より

【特長】

- ・地域の大人に、授業や放課後などで学習やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあると回答している児童の割合が高い。地域の方々が子どもたちに関わる取組を継続的に続けている成果だと考える。
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますかという質問に対し、認めてくれていると肯定的な回答をしている児童の割合が高い。

【課題】

- ・各授業におけるタブレットなどのICT機器活用では、必要に応じて適切に活用を進めることが必要である。ICT機器活用時のきまりをしっかり守りながら、効果的に活用できるように指導していきたい。
- ・理科は好きであるが、理科や科学技術に関する職業に就きたいと回答する児童の割合がやや低い。文系、理系にこだわらず、様々な職業があることを紹介して、将来の職業選択の幅を広げていきたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・国語、算数を中心に児童が意欲的に取り組めるように学習内容を工夫し、わかりやすい授業づくりを進めていく。
- ・自分の意見や考えを発表したり、友達の意見や考えと比べたりすることで、お互いのよさを認め合い、自分の考えを深めていく学習活動を継続的に行う。
- ・タブレットなどICT機器を、必要に応じて効果的に使えるようにするとともに、本や新聞などの情報も活用できるように支援する。
- ・児童にとって、学校が楽しく、困ったことはいつでも相談できる場となるように、一人一人のよさを認め、温かい雰囲気の中で自分らしく過ごせるように、授業改善の工夫をしていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・基本的な生活習慣（早寝、早起き、朝ごはん）は、子どもたちの生活を豊かにします。生活リズムを整えられるように継続的な取り組みをお願いします。
- ・学校の授業以外でも、自分で計画を立てて学習する習慣を身に付けてほしいと考えています。学校でも指導してまいります。ご協力お願いします。
- ・子どもたちは、家庭・学校・地域の中で育ちます。学校行事や地域行事に参加していただき、皆で子どもたちを支えていきたいと考えています。ご協力お願いします。